

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民に生涯学習情報を提供するため、掲示物等のディスプレイの工夫を継続し魅力ある施設運営を行う。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	公共施設予約システムを円滑に更新する。また、市民へ生涯学習情報を提供するため、掲示物等の工夫を継続し快適で魅力ある施設運営を行う。
②①に基づく取り組み結果	市民が快適に施設利用できるよう適正な施設管理を行うとともに、時期に即した生涯学習情報を提供するため、掲示物等を工夫し毎月更新した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図(対象をどうするのか)	活力ある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	生涯学習施設の供用及び生涯学習情報の提供			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自己実現の場として、さらには社会参加への機会のある場として、利用者は増加し、学習意欲の多様化が進んでいくものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	利用者が効果的で効率よく施設予約などができる利用しやすいシステムの運用を図った。また、快適に施設利用しながら学習情報に興味を持ってもらうため、職員の手作りによる学習情報の掲示物を作成展示し情報提供した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習推進センター利用件数	1,449	1,835	1,857	件	業務取得
	ii	インターネットアクセス件数	91,465	120,997	209,970	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳			平成30年度予算	
事業費(千円)	31,139	37,027	金額(千円)		内容	35,735	
	国支出金(千円)		10,776		使用料及び賃借料		
	県支出金(千円)		9,847		賃金		
	市債その他(千円)		6,939		需用費		
	一般財源(千円)	31,139	37,027	5,945	委託料	35,735	

IV 評価・検討

①課題	年々市民の学習意欲の多様化・専門化が進んでおり、学習機会の増加が求められていることに加え、生涯学習活動への取り組みの中で現代的・社会的課題の解決への期待が高まっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コスト削減のための人員体制や組織の統廃合を進める中で、多様な学習要求に対し、これまで実施している事業などを組み合わせ現代的・社会的課題の解決を踏まえながらサービスの向上を図るため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H28からの繰越	
		H28⇒29繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成30年度への繰越額(単位:千円)					

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	3	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「人材育成」の視点をより強く持って、事業を実施していく。市民との企画事業について、検討から事業実施するという作業が、「地域のため、市民のため」に繋がりを、その成功体験がまち(故郷)を思う気持ちに結びつくため、企画事業に参画する人を増やすべく募集のPRに力を入れる。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	「人材育成」の視点をより強く持って、事業を実施していく。企画委員の意識を醸成するための一つに、魅力ある事業を職員側が数多く提案することも必要であることから、職員間の情報共有を図りつつ職員の勉強会を実施する。
②①に基づく取り組み結果	各学習センターで実施する講座やふれあいまつりでは、市民企画委員の充実した企画・運営により、それぞれの地域を盛り上げることに結び付いた。人材育成という視点では、企画委員の自立への意識醸成に繋がった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	活力ある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	コスト削減のため、人員体制や事業の改善等を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習意欲の拡大、学習サークルへの参加によって、さらに学習センターを生涯学習の場として利用する市民が増えるものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	各学習センターにおいて市民企画講座や、ふれあいまつりを企画・運営した。市民企画講座では、地元出身で活躍している人などを積極的に探し、企画に組み入れるなどアイデアを形にした。						
②成果を表す指標	指標名称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	延べ主催講座参加者数	20,294	20,550	20,288	人	業務取得
	ii	延べ施設利用者数	287,439	296,191	297,917	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算		
事業費(千円)	85,618	83,851	金額(千円)	内容		96,243	
国支出金(千円)			83,851	市内5館の管理運営に要する経費			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	85,618	83,851				96,243	

IV 評価・検討

①課題	学習ニーズの多様化・専門化及び学習意欲の向上から、こうした希望に応える講座提供が求められる。市民との企画事業については、企画委員の継続的確保が課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として、市民ニーズにフレキシブルに対応できる講座内容の立案を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H28からの繰越	
		H28⇒29繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成30年度への繰越額(単位:千円)					

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	12いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を行う。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	利用者が安全かつ快適に利用できるよう、点検・修繕等の管理を継続的に行う。
②①に基づく取り組み結果	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により利用環境悪化を防ぎ、環境の快適化により施設の利用促進に資する。
②事務事業の概要	市内の各学習センターのうち、東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ほとんどの施設が老朽化しているため、今後も改修工事は必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠	
	i	工事件数	4	0	1	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算		
事業費(千円)	1,598	53,762	金額(千円)	内容	0		
国支出金(千円)			53,762	外壁・屋上防水工事			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)		40,300					
一般財源(千円)	1,598	13,462			0		

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加することが予想される。外壁改修等大規模修繕には位置づけられていない多額の費用のかかる施設修繕について、取扱いの検討を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習活動の場を安定的に提供するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を行う。	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	予定どおり実施	50,988	53,763	当初	50,988	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越	0		
③達成状況	完了			補正	2,775	現年分	53,762
				流用・充当	0		
④未完了・非着手の理由		平成30年度への繰越額(単位:千円)					

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	児童が読書をすることに興味を持つよう市内小学校1年生に図書館の利用案内などを配布する。シニア世代の憩いの場として各種事業を推進する。
②①に基づく取組み結果	団体貸出により、関係機関との連携が確立されている。また、市民・シニア向け事業の実施をした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	利用者の多様なニーズに応えるため、図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	多様化・高度化する学習欲求に対応するため、図書館資料・蔵書の充実を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始。その後昭和52年に市役所旧庁舎へ改修・移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、利用者がより身近に利用できるよう、分館を整備した。今後も本館・分館の資料の充実を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	一般図書5,858冊、児童図書2,282冊、視聴覚資料149点を購入することにより、平成29年度末の蔵書数は、301,619冊となった。					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 蔵書数	303,029	303,599	301,619	冊	業務取得
	ii 図書購入数	7,876	7,998	8,140	冊	業務取得
	iii 図書貸出数	408,725	397,206	405,089	冊	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	15,000	14,997	金額(千円)	内容	15,000	
国支出金(千円)			9,993	一般図書購入:		
県支出金(千円)			4,005	児童図書購入:		
市債その他(千円)			999	視聴覚資料購入:149点		
一般財源(千円)	15,000	14,997			15,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の精査・検証が必要であるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	図書資料購入	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入	15,000	15,000	当初	15,000	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越	0		
				補正	0		
③達成状況	完了			14,997	現年分	14,997	
④未完了・非着手の理由		平成30年度への繰越額(単位:千円) 0					

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館情報ネットワーク整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、利用者により多くの情報を提供する。30年1月からは1年間システムの再リリースを実施する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	31年1月の図書館システムの更新に向けて、システム構築を実施する。館内の利用者用の蔵書検索端末機や図書館ホームページのリニューアルにより、利用者により多くの情報を提供する。
②①に基づく取組み結果	ホームページアクセス数、インターネットによる図書予約数が増加した。30年1月からは図書館システムの再リリースを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	利用者の利便性の向上のため、市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。
②事務事業の概要	インターネットを利用した蔵書データベースの検索及び貸出予約システムを運用する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	利用者の利便性の向上のため、市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	図書館ホームページアクセス数 174,277件 インターネット予約数 35,034件					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i ホームページアクセス数	161,119	168,501	174,277	件	業務取得
	ii 予約リクエスト数	42,345	43,442	48,143	件	業務取得
	iii 延べ利用者数	122,780	120,872	123,135	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	8,249	8,306	金額(千円)	内容	10,147	
	国支出金(千円)		542	プロバイダー回線使用料		
	県支出金(千円)		221	電話代		
	市債その他(千円)		6,895	図書館オンライン使用料		
	一般財源(千円)	8,249	8,306	648	インターネット検索・予約システム使用料	10,147

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットの普及による情報化社会に対応するため、図書館情報システムのさらなる充実を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者が自宅にいながら図書の検索や予約ができるシステムや図書館館内での検索システムは、今後さらに充実させ拡大していく必要性があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	図書館システム運用	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	図書館システムの更新に向けて再リリースを実施した。	8,307	8,307	当初	8,307	8,306	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越	0		現年分	8,306
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						0

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	適正な施設の管理運営のため、28年度の空調設備改修工事設計委託の実施完了を基に、空調設備改修工事を実施し、利用者サービスの向上を図る。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	31年度のエレベーター改修工事に向けたエレベーター改修工事設計委託を行い利用者サービスの向上を図る。
②①に基づく取り組み結果	空調設備改修工事を実施し、利用者サービスの向上を図ることができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	適正な施設管理運営により、利用者の方に快適に図書館をご利用いただく。
②事務事業の概要	老朽化した図書館の空調設備改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	図書館は昭和62年4月に開館以来30年を経過し、エレベーターの経年劣化による改修工事の他、老朽化した建物の外壁工事等の改修工事が今後も計画的に必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	空調設備改修工事を実施した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 工事件数		3	1	件	業務取得
	ii 必要箇所		3	1	箇所	業務取得
	iii 延べ利用人数		120,872	123,135	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	4,982	76,364	金額(千円)	内容	1,145	
	国支出金(千円)					
	県支出金(千円)					
	市債その他(千円)	59,400	63,200	空調設備改修工		
	一般財源(千円)	4,982	16,964	13,164	空調設備改修工	1,145

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	図書館の経年劣化の進捗に伴う改修が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	適正な施設の管理運営のため、空調設備改修工事を実施したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	空調設備改修工事	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	空調設備改修工事の実施を完了した。	79,231	79,231	当初	79,231	76,364	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越	0		現年分	76,364
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						0